

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>日本経済は、これまで緩やかな回復基調を続けてきたが、ここへ来て足踏みを示している。アジア、特に中国向けを中心に輸出が悪化するのに並行して、鉱工業生産の水準も横ばいで推移している。中国経済の先行きは不透明で、中国ビジネスと関係が深い鉄鋼・一般機械・輸送用機器に関連する企業は、当面生産や設備投資に慎重にならざるを得ないと考え。足元では猛暑などの影響で個人消費が堅調に推移しているとの報道もあるが、円安などに伴う食料品価格上昇もあり、実質ベースでの伸びは限定的とみている。また中国要因による株価下落も、個人消費に悪影響を与えよう。労働市場が引き締まっていることから、景気悪化に対する抵抗力は従来よりも増していると思われるが、中国経済の動向次第では、日本を含む世界経済に相当大きな打撃を与える可能性がある(8/28現在の情報に基づく分析)。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>プレミアム商品券は地域内の消費を一時的に底上げし、地方経済を下支えする効果があると思うが、持続性は期待できない。(質問2 - 2)に記載した事項など、潜在成長力を高める大胆な改革事項を示し、将来への期待を高めていくことが必要ではないか。</p>
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>地域の産業基盤を支える人材を育成するため、地域の特徴や産業集積を踏まえた特色ある地方大学や実践的な職業教育を提供する高専・専門高校の充実等が求められる。具体的には山形大学有機エレクトロニクス研究センター、山梨大学ワイン科学研究センター、信州大学繊維学部、秋田大学国際資源学部のような機関をイメージしており、各地域が自身の強みを見極めて、技術のみならず教育・観光やダイバーシティも視野に入れた特徴ある人材育成を図るべきと考え。また、潜在的な成長力強化のためには、女性、高齢者の労働参加率引き上げに加え、外国人にも戦略的に門戸を開けていくことが望ましい。特に地域の視点からは、即戦力として、生産性向上のためのIT人材、海外向け発信が出来る観光マーケティングの専門人材、輸出市場開拓のための地域商社(生産者と市場をつなぐ役割)人材、などが必要である。また、地域の大学が、主にアジアから学生を積極的に受け入れ、日本の言語・慣習・文化にも通じた人的資本を蓄積する取組みも国として後押しすべきである。</p>